



備前化成株式会社

品質情報管理システムの立ち上げとSAP連携により、データ運用工数の大幅削減に貢献
柔軟なEAI基盤の構築と品質情報のデータベース化により、高度な品質管理を実現

備前化成株式会社は、健康食品のOEM製造や、機能性食品の素材開発、医薬品原薬の製造を行う企業だ。長年培ってきた技術とノウハウに基づき、自然由来の原材料から製品を生み出す一貫生産体制を整備して、人々の健康に貢献を果たしている。同社は、仕入先が記入した原料、資材の規格情報をPDF化し、ファイルサーバーに格納、管理してきた。これに対し検索性の向上を含め、円滑なデータ活用を可能にするため、新たに品質情報管理システムの「食Quality」を構築。それに伴って、SAPで運用されている基幹システムとのデータ連携が必要となり、データ連携基盤として「ASTERIA Warp」を導入。品目ごとの原料、資材にかかわるデータや、得意先、仕入先などの情報登録に要する工数削減を実現し、食Qualityでのデータベース化を進めて、品質情報に関するデータ活用を柔軟に進めていける体制が整った。

導入背景

- 新たに導入した品質情報管理システムにより原料、資材の情報がデータベース化されることを活用して、SAPへ手入力していた登録作業の自動化が求められた
- 今後のDX推進のため、社内システムをシームレスに繋げていく必要があり、データ連携処理の構築および運用保守が容易かつ統合管理できる基盤の構築が求められた
- 簡易的な処理であれば、内製で構築できるシステムを探していた

選定ポイント

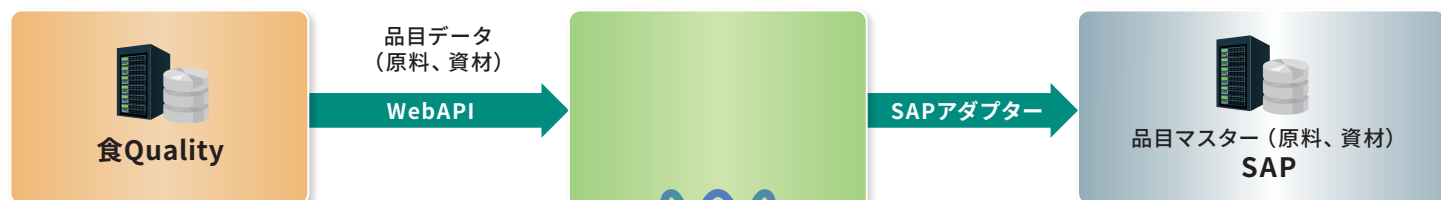
- 他のEAIツールと比較して、導入・運用に要するコストを低く抑えることができる
- グラフィカルな画面で開発スキルを問わず、容易に連携処理の構築が可能
- 日本製品のため、迅速なサポートが期待でき、豊富な導入事例やドキュメント類も日本語で用意されているため、誰もが開発や運用保守に容易に取り組める

効果

- 品質情報管理システムの食QualityからSAPへ原料・資材の情報を連携。また、SAPに登録された得意先、仕入先の情報を食Qualityへと連携する仕組みを構築。約120時間/年の関連作業を削減
- 半製品・製品単位での品質情報管理や会計、製造工程などの情報も、SAPやSalesforceでの連携自動化を想定しており、これにより約8,000時間/年の削減が見込まれる
- 工場でのDX推進にかかわるデータ連携処理を構築するなど、新たな連携ニーズにも柔軟に対応できる体制が整った

システム概要

■ 品目マスター連携



■ 得意先・仕入先マスター更新



ユーザーのひと言



今回、当社では「ASTERIA Warp」を採用して、食Qualityの構築に伴う基幹システムとのデータ連携処理を統合管理できる仕組みを実現。さまざまなシーンで想定されるデータ連携ニーズにも、ASTERIA Warpのノーコード開発によって対応していける体制を整えることができました。今後もSFA/CRMや工場関連システムとのデータ連携を計画しており、ASTERIA Warpによって社内システムがシームレスに繋がる環境を構築予定です。また内製化の技術向上も目指し、アステリアが開催するユーザー会なども活用していきたいと考えています。

業務改革推進室 西田 様

User Profile



所在地：岡山県赤磐市徳富363

会社概要：医薬品(医療用医薬品の原薬、一般用医薬品)・
医薬部外品・健康食品素材・健康食品の製造販売

業種：製造業

URL：:https://www.bizen-c.co.jp/